

はつかいち たも きゅうしょく
廿日市のおいしい食べ物を給食でつかってるよ！

たべもの新聞

しんぶん
Vol.19 キャベツ

平成26年12月16日 廿日市学校給食センター

さいばい ようす しょうかい
キャベツの栽培の様子を紹介します

くしま かい
—玖島の甲斐さん—

きゅうしょく あき りゅう ほつかいちしな い きまぎま ちく そだ
給食センターでは、秋から冬にかけて、廿日市市内の様々な地区で育てられ
たキャベツを給食に取り入れています。今回は、玖島地区の甲斐さんの畑へ行
き、種まきから収穫までの様子取材させていただきました。

かい さんご じしん が、ブロッコリーやほう
れん草などの野菜が大好きで、「子どもた
ちに、野菜の本当の味を知ってほしい」と
言われていました。

「野菜作りは、天候に左右されるところが
難しい。だから、芽が出てきたらうれしい
し、大きく育ててくれたらうれしいです。」
と、目を輝かせて話をされていたのが印象
的でした。



1 たね 種をまく(7月17日)



キャベツの種

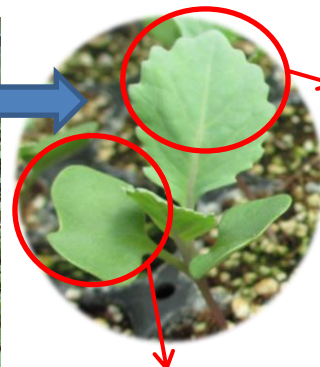


たっぷり水をかけてトレーにくぼみを作り、2000
粒のキャベツの種を、一粒ずつまいていきます。芽がでる
までは涼しい場所に置いて育てます。

2 め 芽がでる(7月31日)



芽がでたら、ビニールハウスに移し、
葉がふた葉から全て本葉になるまで育
てます。



葉が
ぎざぎざ
している
のが
本葉
です。

つるんとしている
のがふた葉です。

3 はたけ 畑に植えかえる(9月9日)



全て本葉になると、畑への植えかえをします。今年は雨の影響で、予定より約10日ほ
ど遅くなったそうです。そのため、苗が少し育ち過ぎてしまい、本来は濃い緑色のところ
が、青みがかった色になってしまいました。



左の棒の先端に35cmの針金がついていて、
その幅を目印に右手の棒で穴をあけます。
この道具は甲斐さん手作りです。

例年は、種を植えても苗に育たないものが1~2割程度ですが、今年は日照不足の影響もあり、茎が細長く育ったもの(徒長)が半
分以上になり、苗は約900と減ってしまいました。この苗を1本ずつ3つの畝に植えます。植えかえてしばらくは、毎日水をしっかり
りまき、その後も1日1回は必ず水をまきます。

4 やく 約50日後の様子



濃い緑色をした外葉が大きくなってきました。これから
中の葉が大きく育ち丸く形作っていきます。

左の3つがキャベツで、右端では白菜が育っています。
この白菜も給食に使用させてもらえることになっています。

5 しゅうかく 収穫(12月9日)



大きくて形のよいキャベツができました。

キャベツは寒さに強いので、このまま畑に植えておき、1月になっ
たら給食に使用する予定です。